

前橋市国際交流協会会報

MAEBASHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

令和3年6月15日発行

Vol.61

発行：前橋市国際交流協会 編集責任者：田村正男総務部会長 ホームページ：<http://miajapan.sakura.ne.jp>
事務局：前橋市本町一丁目5-2 前橋市職員研修会館1階 電話：027-243-7788 FAX：027-226-1561

「教育は未来を照らす光」

前橋市教育委員会 教育長

吉川 真由美



2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症に翻弄されて、教育現場では、約2か月にわたり、休業を余儀なくされました。次から次へと新たな課題に直面し、「学校とは何か？」を自問自答する毎日でした。「学びを止めない」ために様々な試行錯誤を繰り返しました。と同時に、学校は勉強をするだけの場所ではなく、安心できる居場所であり、人と交わりながら成長する場なのだということや、学校給食の大切さについても、認識を新たにしました。

また、学校が、子どもたちにとってばかりでなく、地域に元気を与え、社会全体にとっても、大きな存在であることを痛感しました。学校が再開され、小学生の登校班や中学生が自転車を走らせる様子を見て、「社会が動き出した」と感じたのは、きっと私だけではないと思います。

教育委員を経て、昨年4月から教育長の職をお預かりしていますが、私はこれまで、国連ウィメン日本協会理事として、貧困や差別、紛争で苦しむ世界の女性たちの支援にかかわり、教育の力の大きさを実感してきました。活動の中で、特に強く印象に残っているのは、国際会議で来日したリベリア初的女性大統領である、ジョンソン・サーリーフ大統領の言葉です。「日本から支援してほしいものは？」という問いに対し、「教育！教育！教育！」と答えられました。「日本は戦後、敗戦から教育で復興を成し遂げた国で、多くのアフリカの国々のモデルとなっている。ぜひ、教育で支援をしてほしい。」と訴えられました。日本の教育制度のすばらしさを海外から知らされ、目を見開かされ

た思いがしました。

途上国では、母親の識字率と、その子どもの5歳までの生存率には正の相関があります。教育は「生きる力」といわれますが、日本においては「よりよく生きる力」を意味しているように思います。一方で、厳しい環境の途上国においては正に、「明日を生き延びる力」なのです。バングラデシュで母親への識字教育をしたり、HIVに感染し、偏見に苦しむカンボジアの女性たちに職業訓練をして自立への道筋を作ったり、アフガニスタンの女性たちをICT環境整備で支援したり。様々な教育が彼女たちの明日を創るようにと願いながら、支援をしてきました。

「教育は未来を照らす光」

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、世界では1億8000万人の子どもたちがこの1年間学校に通えずにいたといわれ、特に難民の子どもたちは非常に難しい状況が続いています。私たちにできることは何か。幸運にも日本で教育を受けることができたことに心から感謝をし、教育を通じて前橋の、そして、すべての子どもたちの未来のために何ができるのか、考える毎日です。



事業計画と予算などが承認される



定期総会であいさつをする金子会長

令和3年度前橋市国際交流協会定期総会は、5月22日（土）に前橋市中央公民館で開催されました。今年も昨年と同様、人数を限っての開催とさせていただきました。会員皆様の委任状での対応につきましては、ご協力に感謝申し上げます。

議事では、「令和2年度事業報告・会計決算報告」「令和3年度役員改選」「令和3年度事業計画・会計予算（案）」が審議され、承認、議決されました。

令和3年度の協会事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、事業展開を考えていかなくはない状況ではありますが、今後も在住外国人の増加が見込まれることから、国際交流の推進に対する取り組みや多文化共生の実現のための事業展開が求められています。こうしたことから、設立30周年の実績を踏まえ、会員、ボランティア、各種団体などと一緒に連携を図り、協会事業の充実とともに、市民の国際意識の高揚や外国人が安心・安全に暮らせるまちづくりなどに取り組んでまいります。

なお、特別講演会は中止とさせていただきました。

主に次の重点項目を中心に各種事業を推進します。

【令和3年度の重点項目】

- ①在住外国人の安心な暮らしや日本語学習を支援
- ②市民の国際交流を推進
- ③外国人への「おもてなし活動」の実施
- ④友好都市との交流事業の協力や推進
- ⑤協会運営事業の充実

□役員の改選

総会で令和3・4年度役員が承認されました。令和2年度に団体の役員改選や人事異動等で替わられた役

員以外は再任。役員改選や人事異動などで、新たに役員（役職）として就任していただきました新役員は次の皆様です。（敬称略）

《新理事》

- | | |
|-------|-------------------|
| 田中 麻里 | 群馬大学副学長・国際センター長 |
| 今村 一之 | 前橋工科大学学長 |
| 半澤 冬樹 | 前橋青年会議所理事長 |
| 川端 利保 | 前橋観光コンベンション協会専務理事 |
| 神山 尚人 | 前橋市国際交流協会事務局長 |

《新監事》

- | | |
|-------|-------------|
| 稲田 貴宣 | 前橋商工会議所専務理事 |
|-------|-------------|

《新評議員》

- | | |
|-------|--------------------------|
| 白石 和義 | 東和銀行常務執行役員本店営業部長 |
| 茂木 和祐 | 群馬経済研究所専務理事 |
| 深町富士雄 | 前橋市農業委員会会長 |
| 井上 進児 | 大胡地区代表 |
| 宮下 雅和 | 群馬県地域創生部ぐんま暮らし・外国人活躍推進課長 |
| 平石 秀樹 | 前橋市文化スポーツ観光部長 |
| 中畝 剛 | 前橋市産業経済部長 |
| 都所 幸直 | 前橋市教育委員会事務局指導担当次長 |

《新顧問》

- | | |
|-------|-----------|
| 石崎 泰樹 | 群馬大学学長 |
| 横山 勝彦 | 前橋市議会議員 |
| 江原 洋 | 東和銀行取締役頭取 |

□令和2年度決算・令和3年度予算

《収入》

（単位：円）

科 目	2 年度決算	3 年度予算
会 費	1,802,000	1,875,000
補 助 金	12,867,000	11,300,000
事 業 収 入	6,393,662	7,659,000
雑 収 入	40,527	16,806
繰 越 金	2,219,141	1,881,194
計	23,322,330	22,732,000

《支出》

（単位：円）

科 目	2 年度決算	3 年度予算
会 議 費	49,366	42,000
協会運営費	14,631,779	12,850,000
事 業 費	6,759,991	8,840,000
予 備 費	0	1,000,000
計	21,441,136	22,732,000

南スーダン選手団とともに

日本語活動ボランティア 竹下 容子

2020年の9月から、前橋市で長期合宿中の南スーダン選手団のお世話係をやっています。仕事は練習グラウンドへの送迎、通訳、買物のお手伝いなどです。

南スーダン選手団の5人のことは、皆さんもよくご存じと思いますが、2019年11月に来日してすでに1年半、東京オリンピック・パラリンピックを目指して前橋市の王山運動場で週に5日練習に励んでいます。MIAの会員の方も何人かボランティア通訳として活躍されていますが、私もお世話係として加わることになったのです。

私にとっては初めてのアフリカの若者たちとのお付き合い、どんな風かなとちょっとドキドキしながらの初対面でした。彼らの言葉は元々はアラビア語、公用語は英語です。「竹下です。よろしくお願いします」と英語であいさつすると、「どうもありがとう、よろしくお願いします」と英語でお返事が返ってきました。

南スーダンについてもよく知らなかったのですが、2011年に独立した世界で最も新しい国で、沢山の部族があるためなかなか政情が安定せず、内戦も続いていると知りました。そこで部族間の融和を図るため、まず若者たちに仲よくなってもらおうとスポーツ大会(ナショナルユニティデー)が開催され、そこから選ばれた若者たちだったのです。きっと大変な思いをしてきたのだらうと思いますが、意外に今風です。

唯一の女子選手のルシアは100mと200mの選手です。日本語もかなりわかり、教えると次々覚えおしゃれも大好き、つい甘くなってしまう。リーダー格のアブラハムは22才、選手団のスポークスマンで長身を折り曲げて日本式に「こんにちは」「ありがとうございます」とあいさつする姿は好感度バッチリです。1500mの選手で大学生たちとも一緒に練習しています。アクーンは400mと400mハードルの選手で一番若い19歳、注意されてフンと横をむいた姿は日本の高校生のよう、褒められてうれしそうに笑う姿がかわいいです。パラ100mのマイケルは30才、いつも全力投球で強い目の光が印象的です。コーチのジョセフは元オリンピック選手の60才、選手たちのお父さんの存在ですが、若者たちはなかなか「はいわかりました」とは言わないようで、どこの国も一緒だなと思ってしまいます。

このコロナの大流行、選手たちの生活も大きく制限されることになってしまいました。それでも慣れないマスクをして市内の学校に交流に出かけたり取材に答えたりしています。

オリンピック・パラリンピックが無事開催され、彼らが国立競技場で走る姿を見たいです。そして前橋での1年半の生活がこれからの彼らの人生の糧となり、平和な祖国をつくる力になってくれたらと願っています。



第3回 MIA活動賞受賞者決まる！

MIA活動賞は、協会が主催する諸事業に積極的にボランティアとして活動従事し、他の会員の模範となる方を毎年各部会から推薦をいただき表彰する

ものです。今回は次の3名の方々が受賞されました。おめでとうございます。



【総務部会】

北爪啓子さん：毎年の国際交流パーティーでは、料理班として400人分の料理を作りパーティーを盛り上げ、また、外国語講座の世話人や各種行事でのボランティアとしても活躍。



【在住外国人支援部会】

沼沢明美さん：日本語少人数レッスンや日本語教室でのきめ細やかな対応など日本語学習を支援するとともに交流活動においても積極的に活躍されイベントには欠かせない存在。



【友好親善部会】

井野民主さん：様々な交流イベントにおいて中心的な役割を果たし活躍される姿が印象的。外国語講座の世話人やイベントのボランティアなど縁の下の力持ち的存在として活躍。

MIA活動賞受賞者の声 ④

出合いに感謝

ホームページグループ

奥野 三千雄



十数年ものあいだ夢見たスペインへ何としても行きたい私は、2009年に意を決してMIAのスペイン語初級講座に申し込みました。それが縁で、国際交流パーティーの手伝いなど、今まで体験したことなかった世界が広がりました。ホームページボランティアの仕事をさせてもらうようになると、更に世界が広がり、年間何回も開催される国際理解講座や各国料理教室を始め、今では開催されなくなった外国人のための「和

太鼓に挑戦」など、年間たくさんの楽しいイベントが行われるMIAなので、その全てをHPで紹介するために取材に出かけるのはとても楽しい仕事でした。取材数に比例して多くの知り合いが出来、沢山の方から声を掛けてもらえるようにもなりました。定年退職してからもこんなに人との出会いってあるんだなぁと嬉しくなりました。

退職後の5年間は嘱託となり、時間も以前よりたっぷり使えるようになったのでボランティアは少しも苦になることはありませんし、たいしたことをしていないのに、事務局の皆さんからは毎回お礼を言われてこんな良い仕事はないものだと思えました。

昨年から新型コロナウイルスが猛威を振るうようになったため、残念ながらMIAのイベントが軒並み中止になってしまいました。私の出番も殆どなくなってしまいましたが、ぜひともまた以前のように皆が楽しく集えるようなイベントが開催されることを願っております。

■会員の加入状況（令和3年3月末日現在）

会員数 個人会員 450人
 団体会員 14団体 法人会員 54法人

■令和3年度会費の納入にご協力を!!

会費納入は事務局窓口で直接お持ちいただくか、今回同封の振込依頼書（群馬銀行、東和銀行）をご利用いただくと、振込料は無料となりますのでよろしくお願いいたします。

前橋市在住の外国人（令和3年3月末日現在）

68か国	合計 7,568人
① ベトナム (1,622)	⑥ 韓国 (421)
② 中国 (1,203)	⑦ インドネシア (375)
③ フィリピン (991)	⑧ スリランカ (241)
④ ネパール (916)	⑨ ミャンマー (226)
⑤ ブラジル (445)	⑩ モンゴル (214)

ホームページも是非ご覧ください。
<http://miajapan.sakura.ne.jp>